

令元-02 男女共同参画推進専門委員会議事メモ

日 時 令和元年8月1日(月) 15:00 ～ 15:40
場 所 事務局 2F 役員会議室
出席者 尾西理事(委員長)、朴、森川、宮田、江藤、森、小林、宇野、常、園邊各委員
欠席者 林原、小川各委員
陪席者 井澤人事労務課長、島田人事労務チーム副課長、
中島男女共同参画推進室副室長、中村同室員

○協議事項

1. 令和元年度後期育児等との両立のための研究補助者雇用経費助成の募集について

委員長から、資料1により本学の教員が、出産・子育て又は介護と研究の両立ができるよう支援するために研究補助者を雇用する経費を助成する本事業について、後期分も前期分とほぼ同程度の予算である140万円を確保できているので、助成対象者、助成額等同じ内容で募集する案である旨説明があった。

なお、応募者多数の場合には、前回の委員会で協議された4点の対応策(①申請した金額よりも減額する。②原則として新規応募者を優先する。③同一事由による支援は、特別な事情がある場合を除き助成期間を限定する。④一人当たりの助成金額の上限を現行の半期30万円から20万円に下げる。)を基に、採用決定の際に再度検討し、総合的に判断することとする旨の説明があり、審議の結果、承認された。

2. トモシヨク宣言及びワークショップの実施について

委員長から、前回の本委員会で説明し了承いただいたNPO法人ファザリングジャパンによるトモシヨク Projectに基づく「トモシヨク宣言」とプロジェクトリーダーである滝村氏の講演会及び教育学部の調理実習室で行うワークショップについて、7月17日の教育研究評議会において資料を基に説明したことの報告があった。続いて資料2-1により9月18日のトモシヨク宣言の案について説明があり、審議の結果、承認された。

次に、委員長から資料2-2により、ワークショップの実施要領について説明があり、内容の確認と各委員から所属部局教員への周知依頼がなされた。

3. その他

なし

○報告事項

1. 国立大学協会男女共同参画小委員会について

江藤委員から、資料3により6月7日に開催された国立大学協会男女共同参画小委員会について参加報告があった。

2. 全国ダイバーシティネットワーク組織東海・北陸ブロックセミナー及び会議について

江藤委員から、資料4により7月17日に開催された全国ダイバーシティネットワーク組織東海・北陸ブロックセミナー及び会議について参加報告があった。

3. 第5回学生の男女共同参画に関する意識調査について

朴委員から、資料5により日中韓の大学の協力により実施している男女共同参画に関する意識調査の進捗状況及び調査数について報告があった。

なお、併せて、男女共同参画推進学生委員会の委員である中国の留学生から、本学には中国からの留学生が170名程おり、出身大学も異なることから、この留学生に調査を行えば有益なデータ、考え方等が得られるのではないかとの提案があったことの報告があり、今後検討していきたい旨の発言があった。

4. 2019年度男女共同参画推進フォーラムについて

委員長から、資料6により8/29～8/31国立女性教育会館で開催される令和元年度男女共同参画推進フォーラムについて報告があり、委員の方で参加希望の方は男女共同参画推進室にご連絡願いたい旨依頼があった。

続いて朴委員から、本フォーラムに8/30と31の2日間、男女共同参画推進学生委員3名と共に参加し、三重大学の男女共同参画に関する活動内容、日中韓の学生による男女共同参画意識調査結果等のパネル展示及び多世代ワールドカフェに参加予定であることの報告があった。

5. その他

・フレンテみえ主催講座「女性のためのエンパワーメント・スクール」について

江藤委員から、三重県男女共同参画センターフレンテみえが主催する連続講座が「女性の想いをカタチに。ススム、変わる！」をテーマに開催されることの紹介と参加は女性限定ではあるが、女子学生も参加できるので周知願いたい旨の依頼がなされた。

以上